

動物実験に関する自己点検・評価報告書

大分県立看護科学大学

平成 28 年 4 月

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>① 公立大学法人大分県立看護科学大学における研究の倫理・安全に関する指針</p> <p>② 研究計画の申請に関する手引き</p> <p>③ 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程</p> <p>④ 実験動物施設利用マニュアル</p> <p>⑤ 実験動物施設等における緊急時対応マニュアル</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 遺伝子改変動物の取扱に関する項目が不十分である。 ・ 危険物質の取り扱いに関する項目が不十分である。 <p>実験目的以外の傷害や疾病の発生予防措置、発生時の治療等に関する項目が一部、明確でない。</p> <p>動物飼育に関して、給餌、給水の項目が無い。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 動物の逸走時における対応が明確でない。 ・ ヒトと動物の共通感染症が発生した場合の学内連絡網が明確でない。
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>これらの項目について、平成 28 年度以内に規程等を改定または策定する。</p>

2. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれているが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 動物実験委員会は置かれていない。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程</p> <p>② 動物実験小委員会名簿</p> <p>③ 研究倫理・安全委員会名簿</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）</p> <p>動物実験小委員会が設置され、適正に運営されている。また、同委員会および研究倫理・安全委員会によって、適正に動物を用いた実験計画が審査・承認されている。</p> <p>しかしながら、遺伝子組換え動物に関しては、遺伝子組換え安全委員会等で審査されることが望まし</p>

い。

4) 改善の方針、達成予定時期

遺伝子組換え動物を用いた実験を審査する委員会を立ち上げる。

3. 動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程
- ② 実験動物施設利用マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

実験計画書の立案、審査、承認結果の報告等、実施体制が適正に定められている。

4) 改善の方針、達成予定時期

改善点無し

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が定められていない。
- 該当する動物実験は、行われていない。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程
- ② 実験動物施設利用マニュアル
- ③ 実験動物施設等における緊急時対応マニュアル

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点があれば、明記する。）

動物実験規程、マニュアルに、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制が記載されているものの十分ではない。

4) 改善の方針、達成予定時期

動物実験規程、マニュアルを改正し、さらに遺伝子組換え動物を用いた実験、危険物質の取り扱う実験、放射線照射実験に関する規程等について平成 29 年度から施行できるよう準備をすすめる。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 評価結果

<p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程</p> <p>② 実験動物施設利用マニュアル</p> <p>③ 動物施設利用者登録申請書</p> <p>④ 実験動物施設設置承認申請書</p> <p>⑤ 実験室設置承認申請書</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>管理者、実験動物管理者、動物実験責任者、飼養者を把握できる体制となっている。</p> <p>実験動物施設、動物実験を行う実験室に関する規程が定められている。</p>
<p>4) 改善の方針、達成予定時期</p> <p>改善点無し</p>

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

本学では、動物実験計画書の研究期間を最長 3 年としているが、短期間の実験を数クール行う実験に関しては、動物の搬入毎に「搬入届」「終了届」を提出することとし、動物実験の実施体制を第三者が把握できるようにしている。また、年度初めに動物施設利用者登録申請書を提出し、動物実験小委員会委員長の許可を得ねば、動物施設で動物を飼養できないこととしている。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会

<p>1) 評価結果</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に機能している。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p>
<p>2) 自己点検の対象とした資料</p> <p>動物実験小委員会議事録</p>
<p>3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）</p> <p>適正に動物実験に関する研究計画書を審査している。</p>

4) 改善の方針、達成予定時期 改善点無し

2. 動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ① 研究計画書 ② 搬入届 ③ 終了届 ④ 動物出入記録表 ⑤ 実施結果報告書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 研究計画書は、学長の承認を経て実施されている。また、動物の搬入、飼育、終了に関しても適切に実施されている。年度末に、動物実験を適正に実施したか実施結果報告書を提出している。
4) 改善の方針、達成予定時期 改善点なし

3. 安全管理を要する動物実験の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験が適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は、行われていない。
2) 自己点検の対象とした資料 ① 研究計画書 ② 搬入届 ③ 終了届 ④ 動物出入記録表

⑤ 実施結果報告書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

放射線照射は安全区域内で実施されている。

遺伝子組換え動物や放射線照射動物に関する安全管理については、ネズミ返しを設置した飼育室で飼養しているが、実験室や動物施設から持ち出す際の逸走防止策が不十分である。遺伝子組換え動物や長期飼育動物が野生型や短期飼育動物と同じ部屋で飼育されている。異なるラックで飼育しているため、安全管理が不十分とは言えないが、別の部屋で飼育することが望ましい。

病原体や発がん物質等危険物質を使用した実験は実施されていない。

4) 改善の方針、達成予定時期

規程やマニュアルを策定した後、その方針に沿った逸走防止策や運搬方法を取る。

平成 29 年度までには実施する。

4. 実験動物の飼養保管状況

1) 評価結果

- 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検の対象とした資料

- ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程
- ② 実験動物施設利用マニュアル
- ③ 動物施設利用者登録申請書
- ④ 実験動物施設設置承認申請書
- ⑤ 実験室設置承認申請書

3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。）

動物の飼養保管は適切に実施されている。実験動物施設利用マニュアルにおいて、飼養方法、照明や湿度等基準値等の記載が不十分である。

4) 改善の方針、達成予定時期

マニュアルを整備する。

5. 施設等の維持管理の状況

1) 評価結果

<input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に維持管理されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ② 実験動物施設利用マニュアル ③ 動物施設利用者登録申請書 ④ 実験動物施設設置承認申請書 ⑤ 実験室設置承認申請書
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 温湿度に関しては、定期的に見視で確認しており、齧歯類に概ね適した温湿度で飼育しているが、温湿度、照度を経時的に記録していない。エアコンディショナーによる湿度調節が不十分である。施設外実験室の環境整備が不十分である。
4) 改善の方針、達成予定時期 実験動物施設および施設外実験室の環境整備を行う

6. 教育訓練の実施状況

1) 評価結果 <input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input checked="" type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検の対象とした資料 ① 公立大学法人大分県立看護科学大学動物実験規程 ② 実験動物施設利用マニュアル ③ 平成 27 年度動物実験小委員会活動報告
3) 評価結果の判断理由（改善すべき点や問題があれば、明記する。） 動物実験実施者、動物実験責任者、管理者、実験動物管理者に対する教育訓練は適切に実施されているが、飼養者に関する教育訓練は、動物実験責任者の責においてなされている。
4) 改善の方針、達成予定時期 新規飼養者に関しては、動物実験小委員会が教育訓練を行う。

7. 自己点検・評価、情報公開

1) 評価結果

- | |
|--|
| <p><input type="checkbox"/> 基本指針や実験動物飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。</p> <p><input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。</p> |
|--|

<p>2) 自己点検の対象とした資料 学内 Web 実験動物施設のページ</p>
--

<p>3) 評価結果の判断理由 (改善すべき点や問題があれば、明記する。) 情報公開を学内のみに行っており、学外へ公開していない。</p>

<p>4) 改善の方針、達成予定時期 情報公開用のホームページを作成する。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

<p>特になし。</p>
